

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

試読・購読はこちらから



1月25日号（297号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

## センバツ出場校決定

31日(土)=1面、運動面、社会面

出場校の発表は午後3時半から、大会開式サイト「センバツLIVE！」でライブ配信される予定です。

学業と部活動の両立や困難な環境の克服などが選考条件となる「21世紀枠」の2校を含め、今年はどんな学校が選ばれるのでしょうか。

第98回選抜高校野球大会に出場する32校の顔ぶれが、1月30日の選考委員会で決まります。



## 論点

### 何のためのPTA

28日(水)=オピニオン面



小中高校単位で組織されるPTA。共働き世帯の増加に伴い、負担の重さから加入しない世帯や解散する事例も見られます。一方で、会費を原資に学校に多額の寄付ができるなど「第二の財布」として機能する実態もあります。



## 外国語話者尊重の社会へ

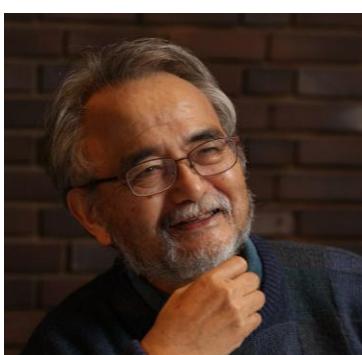
25日(日)=くらしナビ面

日本で暮らすなら日本語を話すのが当然なのでしょうか。

「外国人の子ども白書」(共編著、明石書店)などの著書がある、藍野大医療保健学部教授の榎井縁さん=写真=に聞きました。

## 特集ワイド 苦難のミャンマー 土井敏邦監督 日本在住者を撮ったわけ

26日(月)=夕刊2面



在日ミャンマー人を取り上げた1本の映画が30日から公開されることになります。監督はパレスチナ問題に向き合ってきたジャーナリストの土井敏邦さん=写真=です。この2月で軍事クーデターの発生から5年となるミャンマーでは、いまも国軍による民衆への武力弾圧や内戦が続いています。そんな中、なぜ「在日」に着目したのでしょうか。